

公益社団法人 石川県作業療法士会 ニュース

第121号 2021年12月15日 発行

地域の人をつなぐ石川県作業療法士会の取り組み

事業部担当理事 米田 貢
(金沢大学)

当会事業部では「中高生による高齢者の生活向上プロジェクトを実現するためのキャリア教育支援」を実施中である。今回以下の3つの事業の報告を兼ねて、当会のキャリア教育と地域生活支援を紹介したい。

【中高生による高齢者のオンライン体験会】

コロナ禍の高齢者の生活状況が様々な調査から見えてきた。中でも活動範囲の制限が大きい課題であったため、高齢者のオンラインの実施が解決方法の一つとして期待されてきた。本プロジェクトでは、金沢市と協力して、高齢者のオンライン体験会を令和3年11月14日に陽風園にて開催した(共催 金沢市地域包括ケアセンターみつくちしんまち)。9名の地域在住の方に参加いただき、機器の設定や、どのように今後利用したいかなどについて、中高生8名が支援した。実施の様子は事業部WEBもご覧ください。中高生は参加者に応じて文字を大きくしたり、ひらがな入力に変更してあげたりと、主体的に支援していたのが印象的であった。実際に息子さんとLINE電話をされた方もおられた。今後、各地で実施予定である。

文責 米田貢

【小学生の作業療法体験】

当会は小学生4・5・6年生と保護者を対象とした体験会を令和3年11月21日にオンラインで開催した。参加した11組の小学生と保護者は、作業療法クイズ、自助具の作成(自宅にあるもので自助箸作り)、非利き手での箸操作や片手が動かない状態での更衣動作

といった障がい体験、更衣が行いにくく困っている模擬患者を評価し、更衣を行いやすくする方法を話し合い、実際に模擬患者に実践してもらうという作業療法士体験を行った。子どもたちは積極的に体験や話し合いに参加し、とても柔軟で幅広い考えにスタッフも新たな気づきを得て、参加者全員が楽しめる会となった。感想は「作業療法士の仕事について知れてよかった」「作業療法士になりたい」「将来の夢の視野が広がった」との声をいただいた。本体験会が作業療法士という進路の選択に繋がれば幸いである。

文責 合歓垣紗耶香(芳珠記念病院)

【高校生の作業療法体験セミナー】

当会は高校生を対象とした体験セミナーを令和3年11月21日にオンラインで開催した。参加者は高校生1～3年生の13名、保護者2名、先生1名であった。オンラインのメリットを生かして能登地区、加賀地区からも多数参加いただいた。プログラムは、①クイズ形式での作業療法の説明、②作業療法の紹介動画、③臨床検査等の体験、④作業療法士との懇談を行った。画面越しの高校生たちは皆笑顔で楽しんでいる様子であった。アンケートからも非常に高い満足度を得られており手ごたえを感じている。

広報活動の工夫として、より多くの方に関心を持ってもらえるように今年度から事業部のWEB、SNSを作成した。皆で知恵を出しながら事業部の活動を発信、活用していきたい。

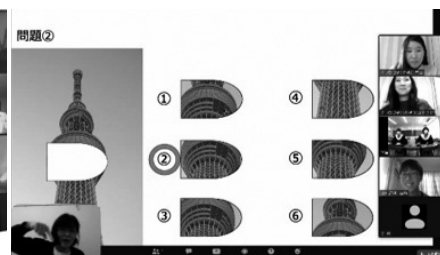
文責 宮腰真(地域医療機能推進機構金沢病院)



①オンライン体験会



②小学生の体験会



③高校生の体験セミナー

災害対策に関する活動報告

災害対策委員会理事 東 ひとみ
(石川県リハビリテーションセンター)

日本作業療法士協会 災害訓練について

2021年9月25日(土) 11時に日本作業療法士協会の災害訓練が行われた。当士会としては今年で5年目となり、訓練開始の案内と同時に、理事および災害対策委員等が所属機関の会員の安否確認・状況報告を実施した。連絡方法は、参加当初はメールであったが、昨年度はLINE（オープンチャット）、今年度はメールとLINE（オープンチャット）を併用した。結果、23機関211名の会員のうち、207名の安否が確認できた。協力いただいた会員に感謝したい。その後開催した災害対策委員会で、「災害訓練の日程を事前に把握していたため、LINEやメールの確認意識が高く連絡がしやすい状況であったが、発災時は実際に気づくことができるか、日ごろからの意識が重要である」、「主に理事が安否確認を行ったが、理事自身が被災した場合、副担当を設けるなどの準備が必要である」、「発災時、LINEやメールが使用できない状況となった場合、安否確認方法の検討が必要」等の課題があげられた。今後、当士会として発災時の安否確認・連絡方法を検討していくにあたり、各機関の災害時の対応について調査することとした。現在準備中であるが、調査依頼の案内が届いた際は、回答の協力をお願いしたい。

中部ブロックDMAT実働訓練について

10月23日(土)、24日(日)に石川県で実施予定であった。石川JRATとして当士会から参加予定をしていたが、新型コロナウイルス感染症により中止となった。今後も他団体と連携した活動が行えるよう、積極的に参加していきたいと思う。

令和3年度 石川JRAT研修会について

石川JRATは、日本リハビリテーション医学会北陸地方会、県理学療法士会、県言語聴覚士会、県介護支援専門員協会及び当会の5団体で構成され、2019年4月に発足した。

県内の医療・福祉関係者への啓発・育成を目的とした研修会を例年開催しており、今年度はオンラインにて、11月16日に「能登半島地震での災害支援について」、12月8日に「地域包括ケア時代：災害と地域リハビリテーション」が開催された。下記のとおり1月29日、2月22日にも開催予定をしている。現在も参加申込み可能なため、多くの会員の参加をお願いしたい。



研修参加申込み
QRコード

令和3年度 石川JRATオンライン研修 今だから災害リハビリテーションを学ぶ ～過去の振り返りから現在の取り組みまで～

	開催日時	内 容 ・ 講 師
第3回	令和4年 1月29日(土) 14:00～17:00	「石川県版オンラインHUGで学ぶ災害リハビリテーション」 講師：NPO日本ファシリテーション協会 オンラインHUGチーム *HUG（避難所運営ゲーム）は、2007年に静岡県危機管理局が企画・開発した防災カードゲーム。カードゲームをするため原則1拠点1名で申込み。
第4回	令和4年 2月22日(火) 18:00～19:30	「令和2年7月豪雨における熊本JRATによるコロナ禍での災害支援活動」 講師：熊本JRAT事務局 次長 佐藤 亮 氏

いつでもどこでも脳活プログラム研修会

金沢大学 菊池 ゆひ

本研修会は、当会が監修した「いつでもどこでも脳活プログラム」(金沢市2019年)を普及啓発し、認知症予防事業を推進することを目的に、令和3年8月10日にオンラインで開催された(金沢市主催)。現在、地域包括支援センターや町内会などからの依頼を受け、地域の健康教室などで実施している。今後、より身近な場所でプログラムを実施していただくために、今回は地域包括支援センター職員、介護サービス事業所職員、運動普及推進員、オレンジパートナーの方を対象とし、計29名(34拠点)から参加いただいた。

今回の参加者は、今後プログラムの実施者となることを想定している。そのため、プログラムの紹介と体験と合わせて、本プログラムの特徴である「社会

脳」がなぜ認知症予防で注目されているのか、その背景も紹介した。また、さりげなくサポートをする具体的な方法や喜びを共有する方法などを紹介した。

参加者アンケートからは、プログラムの体験が楽しく行われたこと、プログラムの趣旨や認知脳、社会脳についてもわかりやすいといった回答が得られた。また今後、地域の集まり、事業所などでも「ぜひ実施したい・実施したい」が90%以上であった。

現在、オンラインでも実施が可能なプログラムの作成やDVD作成の準備を進めている。今後も「いつでもどこでも脳活プログラム」の開催依頼が続くことが見込まれており、引き続き多くの県士会員のご協力をお願いしたい。

生涯教育システムについて

教育部理事 桂 靖典
(木島病院)

1. 手帳移行作業終了と今後の対応、生涯教育システム(研修管理システム)の運用開始

令和3年10月9日をもって手帳移行作業の期間が終了した。全国で22,179人(39.1%)の会員が手帳移行作業を行い、石川県では約45%の会員が手帳移行を実施した。書類等の不備により、申請が「保留」の会員が全国で約2000名いる。各自、会員ポータルサイトから申請結果をご確認頂きたい。「保留」の場合は、事務局の指示に従い再申請を行って頂きたい。今回、申請を行えなかった会員への対応は検討中である。手元の手帳は保管し、ポイントの押印を行うなど申請再開に備えて頂きたい。(詳細は日本作業療法士協会ホームページを参照)

また生涯教育システム(研修管理システム)の新運用が令和3年11月15日より開始された。本システムによって県士会主催の研修会、学会等への基礎ポイント(参加、発表、講師)の証明は電子化され、各会員のポータルサイトから確認できるようになった。しかしSIG等の研修会への参加、発表については各自で登録が必要なため注意して頂きたい。

2. 事例報告制度の受付停止と今後の方向性

認定作業療法士の取得要件であった事例報告登録制度(一般事例)が令和3年9月末で新規登録停止となった。今後の方向は未定である。現在、認定作業療法士新規取得にかかる事例報告要件は下記の図を参考にして頂きたい。

事例報告の具体的な方法

要 件	具 体 的 な 例						不 可	
事例報告登録制度 (一般事例・MTDLP事例) *2021年9月末にて一般事例の 新規登録停止	3事例	2事例	1事例	2事例	1事例	---	1事例	---
臨床実践能力試験	---	---	---	ど れ か 1つ	ど れ か 1つ	ど れ か 1つ	ど れ か 2つ	ど れ か 2つ
臨床実践報告(5例)	---	---	---	ど れ か 1つ	ど れ か 1つ	ど れ か 1つ	ど れ か 2つ	ど れ か 2つ
他団体・SIGの資格認定 (1つ以上)	---	---	---	---	---	---	---	---
別表② イ. の要件	---	1つ	2つ	---	1つ	2つ	---	1つ

『別表の②』のイ.について

イ. 以下の学会誌・学術誌への掲載

- ・作業療法
- ・WFOT加盟国発行の学術誌
- ・日本作業療法学会
- ・作業療法やリハビリテーションに関連のある国際学会(WFOT学会、APOTC学会など)
- ・ISBN/ISSNに登録された、都道府県作業療法士会発行の学術誌
- ・ISBN/ISSNに登録された、他団体やSIGの発行する学術誌
- ・ISBN/ISSNに登録された、その他関連する書籍(ジャーナル)など

生活行為工夫情報事業について

福祉機器部理事 JCHO金沢病院 越田 雄

8月22日に生活行為工夫情報事業のキックオフ研修を行い、約4ヶ月が経った。本事業は生活行為に不自由さを感じているすべての住民が、自ら有する能力を発揮し、自分らしい生活を継続できるよう、用具や環境の調整・整備についてOTが行った工夫情報を取りまとめていく活動である。石川県として、今年度は60事例の登録を目標としているが、現状は10数例の登録に留まっている。まずは9月にお配りした「生活行為工夫情報事業参加のお願い」をご参照の上、福祉用具相談支援システムへ登録して、石川県の登録事例やサンプルページをご覧ください。そして、一定年数の経験を持つ会員には、これまで実践されてきた作業療法における工夫をぜひ投稿していただきたい。登録事例数が増えることで、生活に関するOTの知恵がシステムに蓄積され、後進のOTのスキルアップにも繋がると考えている。また今年度について

は、事例登録者から優秀賞や最多登録賞などを選出して、賞品を贈呈することも企画している。領域や分野を問わず、積極的な事例投稿をお願いしたい。



福祉用具相談
支援システム
新規利用登録ページ



第30回石川県作業療法学会のご案内

次期学会長 金沢大学附属病院 西 悦子

第30回石川県作業療法学会は令和4年7月2日(土)、3日(日)に開催を予定している。県士会の学術活動の中心である県学会は記念すべき30回をむかえる。県作業療法学会は先人たちの努力により今日まで多くの研究、臨床の一助として寄与してきた。また未来へと継承していきたい。今回は「作業療法を極める～それぞれのライフステージで～」というテーマでそれぞれの分野や年代においての作業療法を極めたい。

特別講演ではびわこリハビリテーション専門職大学 作業療法科 教授 辛島千恵子先生に「広範性発達障害者のそれぞれのライフステージで問題点と作

業療法について」のご講演をお願いしている。先生のお話はとても分かりやすく、分野を超えてためになる講演になることと思う。ぜひ、いろんな分野の方に聞いていただきたい。また、教育講演としては新潟医療福祉大学作業療法学科教授である能登真一先生にご専門であるQOLについてご講演をお願いしている。QOLの評価の重要性を皆さんに知っていただきたいと思う。また、そのほかいろいろな企画を考えている。まずは1月下旬より演題募集が開始される。ぜひ演題登録をお願いしたい。学会長、学術部、県士会一丸となって学会を成功させよう。

能登支部

恵寿総合病院 小川 正人

11月12日に第3回MTDLP検討会を開催。発表者は無く11名が参加、つるぎ病院の渡邊貴之先生の合格事例を用い「合意形成の得かた」「多職種連携」について意見交換し、分かり易い解説のもと筋道や要点を共有した。昨今、参加・発表希望者の減少が続いて

おり、対応が喫緊の課題である。来年2月5日に金沢脳外の高多真裕美先生に「後輩作業療法士の成長を支える環境づくり」の研修会と事例検討会を予定、多くの参加をお待ちしている。

金沢西支部

石川県リハビリテーションセンター 長原 美穂

金沢西支部では、今年度これまで事例検討会・MTDLP事例検討会を各2回、なんでも相談会を1回開催した。7事例の報告と延べ87名の参加をいただいた。

支部で事例報告をされた方は基礎研修の「事例検討」「事例報告」の履修となるので、日本作業療法学会や他団体の学会等で事例報告された方はぜひ支部

の事例検討会・MTDLP事例検討会でも報告されることをお勧めしたい。

今年度は第3回MTDLP事例検討会(2月2日)、第3回事例検討会(3月2日)を予定している。ぜひこの機会をご活用いただきたい。

金沢東支部

金沢大学附属病院 堀江 翔

MTDLP事例検討会を9月15日に実施した。2事例はいずれも精神科領域からの発表で様々な分野からの意見があり、非常に有益なディスカッションができたと思う。また一般の事例検討会は10月22日に実施し、こちらも精神科や老健施設などからの発表があっ

た。今後も金沢の支部ならではの他分野間の交流を積極的に行っていけたらよいと感じているので、特に精神や発達、生活期(老健・訪問等)からの事例を期待している。

加賀支部

片山津温泉・丘の上病院 西村 幸盛

11月17日(水)の第2回事例検討会では34名が参加し、傾眠傾向にある方の訓練の受け入れに難渋した症例や麻痺側上肢の書字獲得を目指した症例、手の外科の実践報告に対し、伝わりやすい書き方から目標の共有の在り方まで多岐にわたる意見等があった。

支部外より参加された方からは、加賀支部のアットホームな雰囲気や様々な所属先からの参加があることについて評価して頂く意見があった。今後も皆さんの積極的な参加を求める。

運転と作業療法に係る委員会

委員長 高間 達也

当委員会は、対象者の重要な移動手段である自動車運転について、県内OTの支援の質の均等化と向上、OT同士のネットワークづくりを目的に勉強会を開催している。勉強会は年2回開催し、第1回は各施設の運転支援の取り組みの紹介を行った。また、「運転支援の基礎」ミニレクチャーを「自動車運転支援の流れ」、「身体機能の評価」、「認知機能の評価」、「実車・シミュレーター」の4回シリーズで開催している。運転支援を

行ったことがない方、現在支援に悩んでいる方、支援内容を再確認したい方など、様々な立場からぜひご参加いただきたい。今後はコロナ禍の移動支援についての情報交換も行う予定である。臨床現場での悩みやわからないことを共有し、OT同士で情報交換を行うことで解決の一助となり対象者へのよりよい支援につながれば幸いである。第2回勉強会は2022年2月に開催予定である。多くのご参加をお待ちしている。

令和3年度厚生労働省指定臨床実習指導者講習会 (石川県講習会) 開催

金城大学 犬丸 敏康

10月30日(土)・31日(日)の日程で令和3年度厚生労働省指定臨床実習指導者講習会(石川県講習会)が開催された。今回も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染予防のためZoomを使用したりリモート開催(拠点：金城大学)となった。講習会には県内の作業療法士52人、県外の作業療法士4人、県内の理学療法士9人の計65人が受講した。受講者の実務経験年数については6年以内が約半数と全体にフレッシュな顔ぶれとなった。Zoomを使用したりリモート開催は昨年度から数え4回目ということもあり、大きなトラブルも

なく、無事に終了することができた。開催に際し、尽力いただいた世話人の方々に感謝申し上げる。丸2日間というタイトな日程だが、子育て中の方や遠方の方も無理なく参加できる点はリモート開催の大きな利点であろう。日本作業療法士協会が示した今年3月末時点での臨床実習指導者の養成目標人数について石川県は既に目標を達成しており、全国トップレベルであることが分かった。ただより良い臨床実習を実現し、優秀な作業療法士を育成するためにも、今後もより多くの方に受講していただきたい。



講習会の様子

◆◆◆令和3年度 公益社団法人石川県作業療法士会 第3回理事連絡会 議事録◆◆◆

1. 日時・場所：令和3年9月8日(金) 19時00分～21時10分 西泉事務所および Zoom使用によるWeb会議
2. 出席：東川、寺田、安本、麦井、桂、米田、中森、種本、永井、合歓垣、越田、東、酒野、柿島、村井、坂下、加藤、堀江、長原、小川、西村
書記：山本、山下
3. 議事【審議・報告事項】①《在宅支援部 通所領域》老年医療部との合同研修会を執行する。承認
②《福祉機器部》生活行為工夫情報事業のPRを支部事例検討会を利用して行う承認 ③《認知症対応委員会》他団体との連携活動について。承認 ④《学術部》第30回県OT学会について参集型またはハイブリッド型で1.5日開催とする。ただし状況によってはオンライン型での1日開催も考慮しておく。承認 ⑤《企画部》リハビリスポーツフェス2021の実施方法について、記録の提出のほかに実施場面の動画投稿も検討していく。重度の障害者も参加しやすいような工夫を検討する。継続審議 ⑥《広報部》広報誌COTOTについて、部員集めに時間を要したため今年度の発行は1回のみとなった。 ⑧《執行部》北陸大学医療保健学部理学療法学科(仮称)新設賛同依頼について賛同書を提出する。

◆◆◆令和3年度 公益社団法人石川県作業療法士会 第3回理事会 議事録◆◆◆

1. 日時・場所：令和3年11月4日(木) 19時00分～19時10分 西泉事務所および Zoom使用によるWeb会議
2. 出席理事：東川、寺田、安本、麦井、桂、米田、中森、永井、種本、合歓垣、坂下、加藤、越田、酒野、東、高橋
出席監事：後出、進藤
出席支部長：堀江、長原、小川、西村
書記：山本、山下
3. 議事【議決事項】①令和3年度補正予算について、安本副会長兼財務担当理事より黒字予算になるとの報告があった。後出雅敏監事より単年度の黒字決算については翌年度以降の活用方法を新たに計画して実行する必要があるとの意見があり、会長より黒字部分を有効に活用できるよう後期に向けて考えていく旨の回答があった。承認

◆◆◆令和3年度 公益社団法人石川県作業療法士会 第4回理事連絡会 議事録◆◆◆

1. 日時・場所：令和3年11月4日(木) 19時10分～21時10分 西泉事務所および Zoom使用によるWeb会議
2. 出席：東川、寺田、安本、麦井、桂、米田、中森、永井、種本、合歓垣、坂下、加藤、越田、酒野、東、高橋、堀江、長原、小川、西村、吉田翔(オブザーバー)
書記：山本(Web)、山下(会場)
3. 議事【審議・報告事項】①《在宅支援部 通所領域》老年医療部との合同研修会の企画と参加費について。承認 ②《教育部》令和4年度現職者共通研修「保健・医療・福祉と地域支援」の講師を高橋理事とする。承認 ③《MTDLP推進委員会》事例検討会の報告者不足について、リストを活用するなど工夫して増加を図る。承認 富山県OT士会とのMTDLP実践者研修会合同開催について、富山県OT士会主催の開催に石川県OT士会から指導者の派遣協力は可能。承認 ④《加賀支部》第2回MTDLP事例検討会は発表希望者がおらず中止となった。今後の対策として「事例報告フォーマットの書き方研修会」を各支部で開催し発表者のサポートを行う。承認 ⑤《福祉機器部》生活行為工夫情報事業を支部中心にPRしていく。

新人作業療法士へのお勧め書籍紹介

金沢こども医療福祉センター 安本 大樹

『作業療法を創る ―この50年のナデシコ・サムライたちの挑戦―』

鎌倉 矩子、岩崎 清隆(編集) 青海社、2015年出版

この書籍は、作業療法黎明期から成熟期にかけて活躍されている11名の作業療法士へのインタビュー形式で構成され、本音で話すその内容は、作業療法士以外の人としての歩みも知れ、思わず引き込まれてしまう。

感じるのは、11名の作業療法士が若い頃から天才肌の何事もこなし、今に至っているのではないという事実だ。悩みながらも進む事ができたのは、以下の3点にある。1つ目は、人との出会い。先輩作業療法士や多職種との出会い。2つ目は不断に当たり前

の仕事をする事、“継続”するという事。3つ目は、作業療法への愛。“作業療法が好き”といった文言はあからさまにはないが、全員、作業療法が好きである事を想像するには難くない。この本を読んで職場で先輩諸氏の思いや考えを知る(コミュニケーションを積極的にする)事は、若い頃には有意義な事だとあらためて感じる。

自分の方向性を見出そうとする時には、一読して欲しい一冊である。

インフォメーション 研修会案内・県士会活動

日時 令和3年12月19日(日)、令和4年1月23日(日)、令和4年2月20日(日)、令和4年3月13日(日)
全4回 いずれも9時～12時
内容 令和3年度石川県作業療法教育協議会研修会
「チーム医療に必要なコーチングとファシリテーションの実践研修」
参加ご希望の方はお問い合わせください。E-mail:otshikawasv@gmail.com

日時 2022年1月16日(日)
内容 教育部 現職者共通研修

日時 2022年2月5日(土)
内容 能登支部 研修会・第3回事例検討会

日時 2022年1月19日(水)
内容 第3回 加賀支部MTDLP事例検討会

日時 2022年2月12日(土)
内容 高度・医療人材育成支援事業研修会
コロナ禍における終末期として専門職に求めるリスク管理と役割

日時 2022年1月23日(日)
内容 高度・医療人材育成支援事業研修会
在宅支援部通所領域・老年医療部合同研修会

日時 2022年2月16日(水)
内容 第3回 加賀支部事例検討会

日時 2022年1月26日(水)
内容 第3回 金沢西支部MTDLP事例検討会

日時 2022年2月18日(金)
内容 運転と作業療法に関する委員会 勉強会

日時 2022年2月2日(水)
内容 第3回 金沢西支部MTDLP事例検討会

日時 2022年3月2日(水)
内容 第3回 金沢西支部事例検討会

日時 2022年2月4日(金)
内容 第3回 金沢東支部 事例検討会

PT・OT・STのための
総合オンラインセミナー

「リハノメ」はPT・OT・STのための、どこでも学べる
オンラインセミナーサービスです。臨床に悩むPT・OT・STのために、
各分野の専門家が臨床経験や研究成果に基づいた知識・技術をお届けいたします。

1ヶ月見放題プラン

通常料金 3,080円が初回限定で…

980円

(税込)

お申込はこちら



作業療法士 /
目白大学保健医療学部 作業療法学科 准教授
佐藤 彰 先生

配信
動画

作業から考える食事支援のありかた
～求められる作業療法士になるために～

作業療法士 / 山梨リハビリテーション病院
リハビリテーション部 副部長 兼 作業療法課長
山本 伸一 先生

配信
動画

脳卒中に対する臨床作
～上肢機能から ADL・Activity～

さらに

法人様 向けプラン

のご用意しております。
資料請求などリハノメ HP
からお問い合わせください。

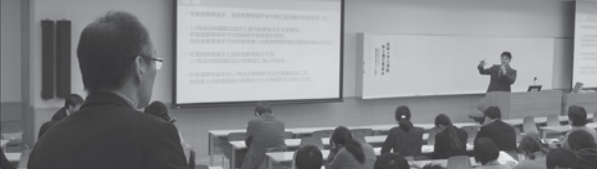
リハビリテーションを
『かたち』にする会社 **gene**

〒461-0004 愛知県名古屋市中区葵1丁目26-12 IKKO新栄ビル 6階

お問い合わせは
こちらまで
お願いいたします

✉ seminar@gene-llc.jp
Tel.052-325-6611 リハノメ 検索





「超高齢社会」、
そして「アフター・コロナ」に向けて。
現場の悩みを解決したい方や、
学びの追及をしたい方へ。
金城大学 大学院で学んでみませんか？

- ・総合リハビリテーション学研究科
- ・総合リハビリテーション学専攻(修士課程)

遠隔オンライン
学習対応

安心設定の
学納金

就業しながら学べる
昼夜開講制



2020年度
「作業療法士」
国家試験合格率 **96%** (2020年度卒業生実績)
(全国平均81.3%)

金城大学

詳しくは、
ホームページを
ご覧ください。





働き方改革
2023年に向けた目標

公休数
120日

残業
0時間

有給取得
100%

■ 出店計画

■ 関東エリア		■ 関西エリア	
■ 北海道エリア	PDハウス相模大野 2021.01	■ 関東エリア	PDハウス相模大野 2021.01
PDハウス西野 2020.11	東京1号店 2021.夏	PDハウス岸部 2021.06	
札幌2号店 2021.春	神奈川2号店 2021.秋	大坂2号店 2021.秋	
■ 福岡エリア			
PDハウス有田 2020.06			
PDハウス今宿 2021.05			

全国に広がる有料老人ホーム

パーキンソン病専門 PDハウス

施設 ビジョン

「我がままに生きる」

「病気だからできない」ではなく「病気でもできることはある」という視点から、利用者様が様々なものに挑戦できる環境を目指しています。また、現場で働くセラピストの想いや技術が活きる、未来ある場所になるよう日々試行錯誤しています。

PDハウス野芥 笠松 朋枝

PDハウスには、元気で優しい知識が豊富で、尊敬できるスタッフさんがとても多いです。私もまだまだ周りの皆さんに助けをもらうことが多いのですが、これからは私自身が成長し、頼ってもらえるような存在になることが目標です。



働き方
公開中!



介護サービス
サンワエルズ

0120-905-166

賛助会員名簿 (順不同)

A会員

社会医療法人董仙会
学校法人 金城学園
株式会社 gene

B会員

学校法人センチュリー・カレッジ
社会福祉法人徳充会青山彩光苑
特定医療法人社団勝木会
医療法人社団和宏会

C会員

粟津神経サナトリウム
石川県済生会金沢病院
石川県リハビリテーションセンター
医療法人社団浅ノ川浅ノ川総合病院
医療法人社団浅ノ川金沢脳神経外科病院
医療法人社団浅ノ川桜ヶ丘病院
医療法人社団浅ノ川千木病院
医療法人社団映寿会
医療法人社団さくら会森田病院
医療法人社団慈恵会
医療法人社団丹生会
医療法人社団生会えんやま健康クリニック
医療法人社団扇寿会
医療法人社団長久会
医療法人社団同朋会
医療法人社団千木福久会
医療法人社団洋和会
社会福祉法人寿福祉会

医療法人積仁会
金沢医科大学病院
独立行政法人地域医療機能推進機構金沢病院
金沢赤十字病院
公立穴水総合病院
公立宇出津総合病院
社会福祉法人篤豊会
社団法人石川勤労者医療協会城北クリニック
城北病院
珠洲市総合病院
芳珠記念病院
医療法人社団 竜山会 金沢古府記念病院
医療法人社団持木会柳田温泉病院
医療法人社団 光仁会
医療法人社団橘会整形外科米澤病院
宇野酸素株式会社
金沢義肢製作所
株式会社トータルシステム
株式会社トミキライフケア
エア・ウォーター・リンク株式会社北陸支店
株式会社 ヤマシタ 金沢営業所
セントラルメディカル株式会社
株式会社 メディベック
株式会社 サンウェルズ

D会員

あいずみクリニック
有限会社さわやか金沢
東洋羽毛北信越販売株式会社北陸営業所

Web会員手続きQRコード



QRコードの説明

研修案内や県士会の情報についてはQRコードから県士会Webにアクセスしてください

会員数

会員数 870名 認定作業療法士 33名 専門作業療法士 5名 (令和3年8月現在)

新会員

中谷光志(葵の園 丘の上)
丸山恵弥(浅ノ川総合病院)

編集後記

今年も残りわずかとなりました。皆さまにとってどんな一年だったのでしょうか。今号では小中高生を対象とした作業療法の体験セミナーや、高齢者を対象とした脳活プログラムの研修など様々な世代にアウトリーチしている報告となりました。新型コロナウイルスの第6波、インフルエンザなどの感染対策や、最近多発している地震など災害対策も待ったなしの状況です。今年は日常的な作業をすることが健康に及ぼす影響を障害の有無に関わらず多くの方が実感したように思います。コロナ後にOTの役割はどのように変化するのでしょうか。霜寒の折、来る年も皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

公益社団法人石川県作業療法士会ニュース 年4回発行

編集担当：酒野直樹、米田貢、越田雄、川口朋子、藤田隆司、寺井利夫、萬貴裕、太田哲生、岩田望、網谷郁美、西谷早紀、吉田友稀乃、竹中朋也、白山武志、南朱音、村井俊太、福岡翔平、北村梨紗、仲佐東、木村知愛、宮腰真、上野玲子、川上直子、宮田真由美、青木友花、竹村健太郎、増田司、南澁太

発行所：公益社団法人 石川県作業療法士会

〒921-8043 石川県金沢市西泉3丁目28-1 東和第3ビル201 Tel 076-259-0678

発行人：東川哲朗 印刷：ヨシダ印刷株式会社